

2 一般会計決算の状況

平成14年度の一般会計決算は、表2のとおり、歳入は、約7,831億円で、前年度に比べ422億円、5.1%の減となりました。歳出は、7,626億円で、前年度に比べ362億円、4.5%の減となりました。

収支の状況は、形式収支（歳入歳出差引額）で約204億円、実質収支（歳入歳出差引額 - 翌年度繰越財源）で約70億円の黒字、単年度収支（当該年度の実質収支 - 前年度の実質収支）で約11億円の赤字となりました。また、単年度収支に積立金や積立金取崩額等を加減した実質単年度収支でみると、約64億円の赤字となっています。これら実質収支等の状況については、図1をご覧ください。

なお、平成5年度からの一般会計決算の推移については、図2及び巻末資料3をご覧ください。

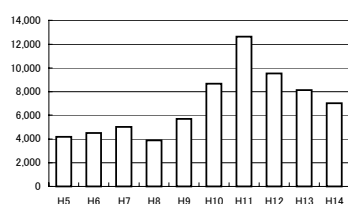
表2 平成13年度一般会計決算収支状況

(単位：千円、%)

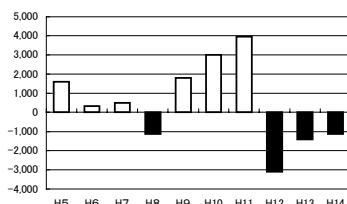
区 分		平成14年度 決算額	平成13年度 決算額
歳 入	A	783,052,221	825,241,278
歳 出	B	762,608,997	798,828,561
差 引 額	C (A - B)	20,443,224	26,412,717
翌年度繰越財源	D	13,435,981	18,285,190
実 質 収 支	E (C - D)	7,007,243	8,127,527
単 年 度 収 支	F (E - 前年度E)	1,120,284	1,407,551
積 立 金	G	26,448	682,403
繰上償還金	H	30,740	6,740
積立金取崩額	I	5,365,285	5,521,839
実質単年度収支	J (F + G + H - I)	6,428,382	6,240,247

図1 実質収支等の状況（一般会計）

(単位：百万円) 実質収支



(単位：百万円) 単年度収支



(単位：百万円) 実質単年度収支

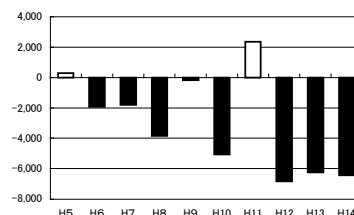
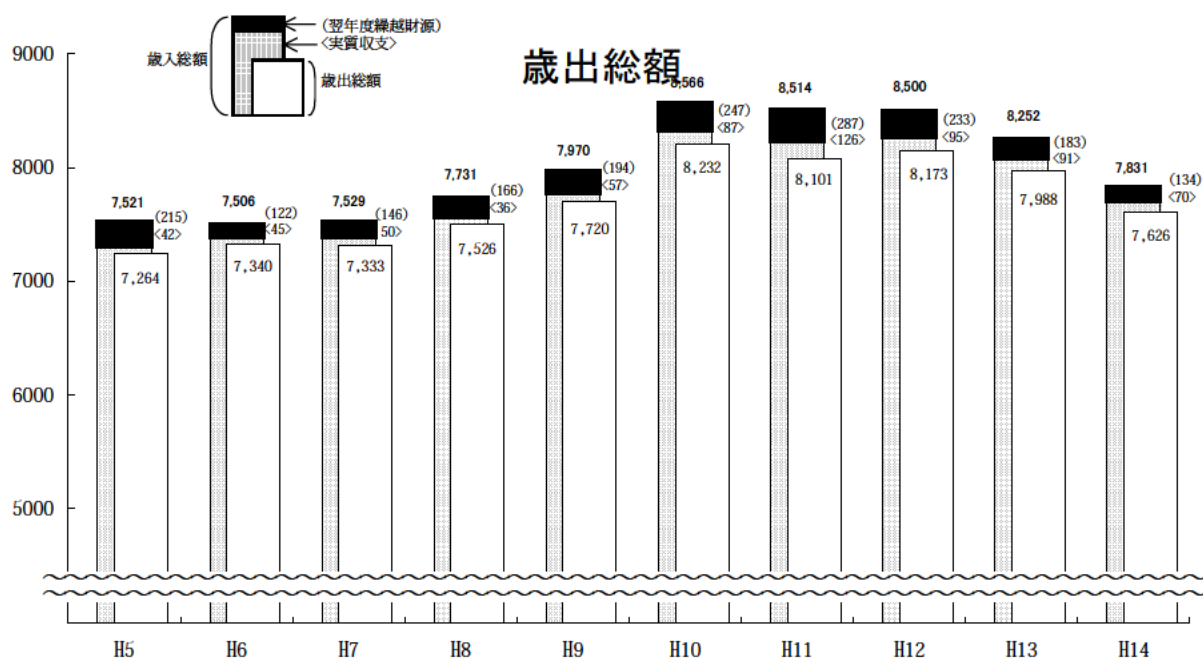


図2 一般会計決算の推移



一口メモ

- 形式収支とは…………… 現金主義の建前にたって、当該年度に収入されて現金と支出された現金の差額を表示したもので、【(歳入決算額) - (歳出決算額)】
- 実質収支とは…………… 本来当該年度に属すべき支出額（翌年度への繰越額）及び収入額（繰越額に係る未収入特定財源）といった発生主義の要素を加減し、実質的な財政収支の結果を明らかにするもので、累年による黒字、赤字額を示す；
【(形式収支) - (翌年度へ繰り越すべき財源)】
- 単年度収支とは…………… 実質収支は前年度以前からの収支の累計であることから、額の影響を控除し、当該年度だけの収支を捉えるもの；
【(当該年度の実質収支) - (前年度の実質収支)】
- 実質単年度収支とは… 単年度収支の中には、実質的な黒字要素や赤字要素が含まれており、これらを控除した単年度収支が、実質的にどのようなようになったかを表すもの；
【(単年度収支) + (財政調整基金積立額) + (地方債繰上償還額) - (財政調整基金取崩額)】

(1) 歳入

ア 科目別歳入決算の状況

主要な歳入科目の決算の状況は、以下のとおりです。

なお、歳入科目ごとに、決算額を前年度と比較すると、図3のとおりです。また、過去からの推移については、巻末資料4をご覧ください。